

フードバンクかながわ 通信

「もったいない」を「分かち合い」「ありがとう」へ



連携

綾瀬市食料提供で連携

福祉総務課×市社協×市民団体×フードバンク×フードドライブ

綾瀬市では福祉総務課・社協・市民団体が、食料無料提供企画「フードリンクあやせ」を実施。市・社協が事務局となり、子ども食堂、地域交流サロン運営団体など8団体が共同で担う。実施に先立ち市民に食品寄付を呼び掛け、169件4,547個の食品が寄付された。24日に関係者による仕分けと米の計量が行われ、26日27日に各100セット（1袋15個相当）を準備。フードバンクかながわからは米200袋、缶詰、レトルトカレー、ビスケット、飲み物を提供。当日は、2日間で約100名が利用した。仕分けに参加した市民からは「継続したいね」という声があり、今後綾瀬市でのフードバンク設立が期待される。（荻原）



横浜市立大学の学生支援



横浜市立大学では3月26日アルバイト収入減などで生活が厳しい一人暮らしの学生に食支援を実施。フードバンクかながわ、フードバンク横浜、区社協、区のフードドライブ、民児協、セブイレブンジャパンが協力し150人分を用意した。

金沢区ひとり親世帯向け食料支援で連携

民児協×区社協×福祉保健課×市民×フードバンク×企業



3月21日(日)金沢区役所でひとり親食品支援が実施された。20年度の民生委員児童委員活動費での食品購入と区役所フードドライブ品、フードバンクかながわ、企業からの食品の寄贈による。12月に横浜社協が行ったひとり親食支援者の中から金沢区在住の63世帯へ連絡。区役所ロビー・会議室の貸し出し、食品の搬入・袋詰めを担った。相談窓口は設置しないが相談のチラシ等を封入。金沢区の民児協は21年度も2回程度の支援を予定している。100世帯分用意し当日申しこみは81世帯。（土山）

米作り 瀬谷小学校の子どもたち



授業での米作りを体験した後、小学生が栽培したお米12kgをフードバンクへ寄贈してくれた。当日『食品のひみつ』（裏ページ参照）を使い、食品ロスについて30分の授業でお返し。



フードドライブでお気をつけ頂くとありがたいこと。

皆様からたくさん心のこもった食品を頂いております。フードドライブ品の増加はうれしい限りですが、時にはご提供できない食品もあります。

フードバンクにかながわに提供された NO GOODの食品 NO 3

- 第1位 アルコール類 贈答品のビールやサワーなど
 - 第2位 賞味期限切れ
賞味期限の記載のない食品や、贈答品で外箱に書かれており、中の食品に記載のないもの。
※大事にしまわれていたらしく期限が5年前という食品もきます。
 - 第3位 破袋、あるいは 開封済みの食品
- 番外編：ペットフード・冷蔵品

- 米は再精米するため、開封済み、少し古いものでも大丈夫ですが、保存中変色したものは美味しくありません。
- さとう、塩、ガムは基本的に賞味期限はありません。
- フードドライブの食品は、誰かに食べて頂くものです。「期限が切れていますが、食べられます」は不可です。提供できない食品は最終的には中身を出し、分別して廃棄しています。



廃棄を待つ食品たち

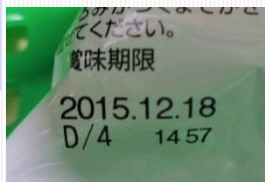
皆様
に
お
願
い



残念！お酒類はNO GOOD



冷蔵品もNO GOOD



食べられそうでも賞味期限切れは NO GOOD



おいしそう！でもよく見ると犬猫用でした！



高級食品も賞味期限がないとNO GOOD



残念！テープで貼っても開封済はNO GOOD 賞味期限がない個装もNO GOOD



お問い合わせ

公益社団 フードバンクかながわ info@fb-kanagawa.com
236 - 0051 横浜市金沢区富岡東2-4-45
Tel 045-349-5803

発行責任：藤田 誠

基本情報 2020年度の累計 (2021/3/31現在)

寄贈された食品	1208回 210.2ト	提供した食品	2298回 194.2ト
企業等	411回 166.6ト	行政・社協	615回 47.7ト
フードドライブ	797回 43.6ト	地域のフードバンク	365回 53.0ト
(2月報告の54.2トは間違い)		子ども食堂等	862回 60.1ト
		自立支援施設	71回 3.3ト
		福祉・病院関係	346回 29.6ト
		調整	0.4ト

2月は寄贈 27.1ト
提供 14.5ト

(2019年度実績 寄贈 97ト・提供 92ト)

合意書締結団体

寄贈締結団体	155団体
提供締結団体	215団体
行政・社協	53団体
市民団体	162団体
(子ども食堂・居場所・施設・福祉関係含む)	

賛助会員寄付状況

団体会員	167団体 606口
	606万円
個人会員	251人 1243口
	1,243千円
2020年寄付金	24,866,654円
日本農産工業(株)より100万円の寄付	
寄付累計	36,195,097円

3月の状況 3/1~3/31 寄贈 19.1ト 提供 22.9ト

【寄贈食品】19.1ト 【提供食品】22.9ト126 団体 209 回

事業者	8.1ト	行政・社協	4.8ト 32団体 53回
フードドライブ	11.0ト	地域のフードバンク	5.7ト 19団体 35回
敬称略で報告 します。		子ども食堂・居場所 施設関係	7.1ト 48団体 75回
		福祉病院関係	0.2ト 4団体 5回
		福祉病院関係	5.1ト 23団体 41回

寄贈

経済活動の再開により企業寄贈は増えていない。継続寄贈として日本食研よりたれ類364kg、日生協よりソーめん323kg、佐藤食品より切り餅153kg、森定食品より常温のシラタキ203kgの寄贈があった。

米一合運動

年間で県内労働団体からの米寄贈は4,385kg。4-9月が18kgであったのに対し米一合を運動化した10月以降4,367kgの寄贈となり、運動は大勢の共感を得た。

フードドライブ

労働組合関係18団体980kg。新潟県フードバンク連絡協議会より米2,040kg。川崎信用金庫3,218kg。JAかながわ西湘女性部280kg。神奈川県共同募金会330kg。福祉クラブ540kg。

提供

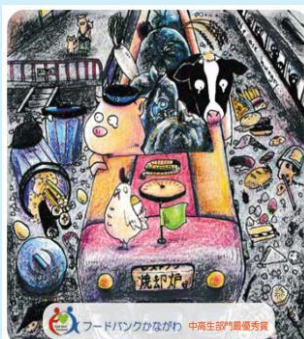
●金沢区では社協・民生/児童委員共同で81世帯に対し、綾瀬市は市・社協・市民団体が200人を対象に、さらに横浜市立大では150名対象に食支援を実施し、フードバンクからも提供。
●新規の団体は戸塚区の子ども食堂DOTHEMOTION、逗子の不登校支援のフリースペースおかえり、金沢区のビルマ人支援リンクトウミャンマー、川崎市でフードパントリーを行う川崎労働組合総連合に提供開始。
●3月は2月より3日多いが、行政で1.5ト、地域のフードバンク1.7ト、子ども食堂2.8ト、福祉関係2.1トと利用が伸長している。学生、ひとり親のほかに、高校生、外国につながる人、女性などコロナによる困窮支援の幅や回数が広がったと推測できる。

食品ロス削減コースター最優秀賞決定

フードバンクかながわが暮らしの中での食品削減をめざし実施したコースターデザイン募集には、応募総数123点が寄せられ、厳正に選考の上、優秀作品、最優秀作品を決定した。優秀作品には一般5千円、中高・小学生には2千円のクオカードを贈呈。最優秀作品は一般1万円、中高・小学生5千円のクオカードを贈呈し、コースターとして作成した。

最優秀作品

小学生部門・冨ヶ原杏奈さん 中学生部門・小山充星さん 一般部門・笠井香織さん



優秀賞

小学生部門
石川星来さん
永井莉央さん
中学生部門
伊藤麻凜さん
福井愛美さん
一般部門
林俊平さん
榎本緑さん

事業推進委員メッセージ

金澤 秀人

(こくみん共済coop神奈川推進本部
事業推進部次長)



こくみん共済coopでは、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、従来の対面型とオンラインを併用し、新しい業務形態に対応した取り組み活動を行っています。東日本大震災から10年、阪神・淡路大震災から25年、熊本地震から5年という節目にあたり、大規模災害から組合員の暮らしを守り、豊かで安心できる社会づくりを進めるため、「これからの防災・減災運動」を6月から本格展開してまいります。こうした取り組みは、SDGsのめざす「誰一人取り残さない社会づくり」に通じるものでもあります。

「たすけあい」「支え合い」「分かち合い」の相互扶助の社会づくりを目指す、「フードバンクかながわ」の活動は、着実にその輪が広がっていると感じています。引き続き、労働福祉団体、生活協同組合等、関係団体間の連携を深めながら、取り組んでいきたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

フードバンクふじさわ設立総会

運営委員に選出された皆さん

フードバンクかながわは2020年4月「藤沢にフードバンクをつくろう」フォーラムを企画しましたが、コロナ禍となり延期してきました。

この度、『ふじさわ福祉NPO法人連絡会』は社協、市、社福いきいき福祉の協力を得、新たな組織『フードバンクふじさわ』を設立させました。設立総会には藤沢市長・正副議長、社協会長、いきいき福祉社会理事長とともに、當具フードバンクかながわ共同代表が挨拶しました。



右：當具フードバンクかながわ共同代表
左：鈴木市長

食品ロス削減副読本

「みらいちゃんとなぐくの食品のひみつ」



小学校高学年・中学生向け。
ホームページでご覧下さい